



こんにちは、岡田よしひでです

2021年3月21日 発行
県議会活動報告ニュース
NO.75

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20



「あき総合病院前駅」誕生を祝う各駅キャラクター（岡田写す＝13日）

あきナースちゃんもお披露目

土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線に同線開業以来はじめての新駅となる「あき総合病院前駅」が誕生し、13日に開業式典が開かれました。新駅は球場前駅とあき駅の間であり、県立あき総合病院へのアクセスも良くなりました。駅キャラクターのあきナースちゃん（写真中央）も披露されました。

知事の政治姿勢 コロナ対策②

日本共産党の米田稔県議は、コロナ禍と政府予算案、ケア労働の処遇改善に加え、コロナ検査と特措法などの罰則について知事の考えを聞きました。

新型コロナウイルスは無症状者が感染を広げることから、感染リスクの高い医療機関や高齢者施設などで簡易な抗原検査を定期的の実施し、陽性者にはPCR検査を実施する、希望する飲食などの抗原検査を助成することが大切です。また、事業者の協力には罰則ではなく補償が必要です。

知事は、「感染が相当程度拡大をし、かつ、クラスター連鎖が生じやすいと認められる場合に」「広く検査を行う。」とこれまでの答弁を繰り返し、無症状者や感染リスクの高い施設等での積極的な検査は行わない方針です。また、罰則については、「説得する構えとして罰則も必要」と答えました。

世界では徹底検査による感染抑え込みがはかられています。世界とは異質だった厚労省・感染症も路線を変更しつつあります。感染症対策分科会の尾身茂会長は「無症状者に焦点を合わせた検査をやることによってリバウンドを防ぐ」ことが重要と述べました。

検査をしていけば防げたかもしれない施設感染が発生しています。私たちは引き続き積極的な検査を求めます。

コロナ禍で苦境の学生支援を

コロナ禍で困っている学生を支援している日本民主青年同盟（民青）や学生らから8日、日本共産党会派をはじめ議会全会派に支援要請がありました。

彼らが行ったアンケートでは、学費を引き下げて欲しいという要望が多く、バイトが減り生活がきつい、リモート授業が多く、友人がでず、何

のために大学に来たのかと悩んでいる、食料支援のまんぷく食堂は学生が会話できる場にもなり感謝しているとのことでした。



おむすび通信 (75)

夏のオリ・パラについて、

知事は「当初の計画のような完全に近い形で開催されることを期待」とすると答弁。しかし世論調査では中止、再延期が多数です。世界的収束は見通せず、ワクチン接種は途上、東京に医療スタッフを集めるのも困難です。政府は中止（再延期含む）を検討し、コロナ対策に専念すべきでは！